

北海道 / 東北 ver.

滅菌器・ハンドピース User's voice

うすい歯科医院(福島県郡山市)

院長 薄井 隆先生

全ては患者さんに安心して 治療をうけていただくために

滅菌器DAC 導入理由

ハンドピースの外部だけでなく、内部も洗浄・滅菌が一台でできる機器はDACユニバーサルしかないので、発売後迷うことなく即購入しました。また、インプラントなどの外科的侵襲をともなう治療には、あらゆる被滅菌物を確実に滅菌するクラスB滅菌器は必須アイテムであるため導入しています。



DAC導入前／ 導入後のワークフローの変化

ハンドピースは毎日、そして患者さん毎に使うものであるので、その管理メンテナンスが煩雑になります。以前はスプレー注油後に滅菌器に入れていましたが、DACユニバーサルでは、ハンドピースをセットしスタートボタンを押すだけで、気が付くと全ての工程が終わっているのでスタッフの手間が楽になり、業務効率が各段に上がりました。また、ヨーロッパ基準のクラスBをクリアしているDACプロフェッショナルは、歯科医師、スタッフ、患者さんにとって高い次元の安心感があると思います。

昨今のマスコミ報道

新聞、特に今回はテレビのワイドショーで大々的に「ハンドピース

使いまわし」報道が取り沙汰されましたが、当院ではホームページや院内の掲示板等で日常的に衛生環境の重要性とその取り組みをアピールしているので、患者さんからの問い合わせはありません。因みに、不十分な滅菌環境は歯科医院経営にとってリスクとなるというのが私の意見です。昔と異なり現在はウィルスのDNA型を検査機関で調べる事が可能なため、同じDNA型ウィルスが証明された複数の感染症患者の共通事項が歯科医院であった場合、医療訴訟に発展する可能性が考えられます。

スタッフにとってのメリット

本来の業務に集中できるのが何よりも助かります。きちんとしたメンテナンスはどうしても手間と時間がかかるのですが、"DACには楽をさせてもらっている"と、スタッフからの評判は上々です。また、定期的に研修に来られる衛生士学校の学生さん達は当院の衛生環境をよく理解しているので、ありがたいことに就職先として応募されることが多いです。更に、現スタッフの離職率が非常に低いのも衛生面からみると職場環境に寄るところが大きく、目に見えない部分でDACが果たす役割は大きいと思っています。

